

新型コロナウイルス問題、オミクロン株の脅威の中で年越しに

最近の状況

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。NEWS LETTER第28号をお届けします。新型コロナウイルスの新規患者発生数は日本では昨年11月以降の大幅な減少後、小康状態を保っていますが、オミクロン株の流行が世界に広がっており、日本政府の専門家会合でも急速な感染拡大を想定すべき状況だという警戒感が高まっています。一方で、去年の年末年始には押さえられていた「人出」が各地で戻ってきており、年明けの状態が心配されます。



南天

12月準定例会を開催しました

2021年12月16日（木）19時半から21時まで12月準定例会をzoom形式で開催しました。今回は、来年1月以降の新しいステージの計画について確認しました。次のステージは担当者が決まっていない部分があるなどまだ完全なものではありません。具体的になる都度改定していくこととなりますが、大きく3つのテーマを取り上げるなど考え方は変わらないことを確認しました。

参加者は9名、準定例会化に引き続きZoom忘年会を開き、行く年くる年をしながら、この研究会の世代交代、若手との意見交換の進め方などについて話合いました。

新しいステージでは、共同代表は3名体制（今井さん、工藤さん、山村）、新幹事として岡部さん、尾川さん、山口さんの3名が加わり、従来からの幹事と合わせて幹事10名体制になります。新たなメンバーの方々には、まずは毎月の定例会・準定例会への参加、それに加えて、意見交換、テーマ発表（講師）、さらに毎月の水道公論誌連載執筆（テーマ物海外水ビジネスの要点、及びコラム海外水ビジネスの眼）を期待しています。（なお、メンバーは幹事や名取さんを含めて28名）

水道公論1月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは「いろいろなIMF・国際開発金融機関の信託基金（工藤氏）」、コラム「海外水ビジネスの眼」では「企業債の定義」を掲載。

定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が1月14日（金）20時から。1月準定例会の開催方法の確認等を予定しています。
- 今回も、zoomによる準定例会とし、1月20日（木）19時半から21時に開催。環境会計と非財務情報をテーマに、環境会計の導入状況（工藤氏）、環境会計から非財務情報へ（後藤氏）の報告などを予定しています。
- 先のzoom忘年会では、若手の人たちとの交流の重要性が話題になりました。若手の方々には、①まずはZoom会議に参加してもらうこと、次に②質問や意見発表によって会議に貢献してもらうこと、そして先々には③演者としてテーマに沿った発表をしてもらうことが期待されます。今後、具体的な展開を検討して行きます。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。